議会事務局 受　　付	中標津町 受付 8.9.-1 議会事務局

令和 8 年 9 月 1 日

中標津町長　　西　村　　穣　　様

中標津町議会議長　後　藤　一　男

中標津町議会議員　１１番　江　口　智　子

一般質問経過回答依頼書

下記の一般質問の経過回答を依頼します。※議員は事務局に提出

一般質問通告	R７年　１２月定例会	通　告　No.	6
通告質問事項	子宮頸がんワクチンの拡大を		
答　弁　者	町　長	回答期日	8年10月1日

（特記事項）

令和7年12月定例会において、男性へのHPVワクチン助成について質問したところ町外の中学校や高校に進学予定の男子生徒の保護者から、「親元を離れる我が子から危険因子を少しでも取り除くため、高額な接種費用を助成してもらえるなら是非ともワクチンを接種させたい」と言う声や、咽頭がんを発症した男性からは、我が子に同じような辛い思いをさせたくないので、助成が実現されれば接種させたいとの声をいただきました。

一般質問の際は「国の議論の方向性を注視しつつ、近隣自治体の状況を確認する」との答弁をいただきましたが、その後、男性への助成対象拡大について、庁内及び関係機関において、どのような協議・検討を行ったのか伺います。

令和８年９月２５日

中標津町議会議長　後藤　一男　様
中標津町議会議員　江口　智子　様

中標津町長　西村　穣

一般質問経過回答書

下記のとおり一般質問の経過について回答します。

一般質問通告	令和７年１２月定例会	通告 No.	6
通告質問事項	子宮頸がんワクチンの拡大を		

令和７年１２月定例会における一般質問、通告６における答弁後の経過について回答いたします。

男性へのＨＰＶワクチン接種については、令和８年７月 22 日に開催された国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、費用対効果分析や定期接種化に向けた議論が行われ、薬事承認上、男性への予防効果が認められる「尖圭コンジローマ」、「肛門がん」、承認外ではあるものの医学的には予防効果が期待される「中咽頭がん」、「陰茎がん」を加えても、費用対効果が「課題あり」と判断されました。

また、女性の子宮頸がん罹患に対する間接的な予防効果は今回の分析結果には含まれていないことから継続審議となり、今年度内には詳細分析の結果をまとめる予定となっております。

道内自治体における男性のＨＰＶワクチン接種費用の独自助成の状況は昨年と変わらず、全額・半額助成合わせて２町３村での実施に留まっております。

以上のことから、町と致しましては、上記審議会における議論がまさに現在進行形で行われている段階であり、まずはその科学的・専門的な議論の動向を見極めることを最優先とし、具体的な関係機関との協議の開始を見合わせておりました。

今後においては、まずは定期接種化されている女性の接種率向上へ向けて限りある財源を優先的に投入すべきであるとの判断の元、男性への独自助成については、国の議論の結果を踏まえ引き続き検討してまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

中標津町 受付 8.10.-8 議会事務局